

すずき俊一 しゅんいち 後援会報 和 第10号



谷垣自由民主党総裁の現地視察(宮古市・山田町・大槌町・釜石市・遠野市)に同行 4.1

東日本大震災 特報



瓦礫と泥に埋もれた町なかを通り対策本部へ向かう(野田村) 3.15



遠野市の後方支援本部自衛隊の基地を視察 3.18



被災された女性が涙で被災者救済を訴える 3.18



厳しい避難所生活の中、避難者の皆さんの切実な声を伺う 3.20



避難所で明るく頑張っている皆さんを激励 3.20



完成が近かった漁港も破壊し尽くされ、瓦礫の山に 3.28



党岩手県連地震災害対策本部会議 3.29



谷垣自由民主党総裁と共に岩手県庁災害対策本部を訪問 4.1



大島党副総裁、石破党政調会長現地調査(久慈市) 4.2



自民党東日本巨大地震・津波緊急災害対策プロジェクトチーム全体会議で、被災地の窮状と復旧復興への提言を訴える 4.13



党副幹事長の皆さんと災害現場視察(田野畑村) 4.20



党副幹事長の皆さんと災害現場視察(岩泉町) 4.20



財本州鮭増殖振興会会長として県内鮭ふ化場視察(下安家・羅賀・摂待・津軽石・重茂・大槌) 4.21



党宮古市支部役員の皆さんと宮古市内の災害現場視察 4.22



党東日本巨大地震緊急対策プロジェクトチーム視察 5.7



宮古市に(岩手県スキー連盟会長として三浦理事長さん、村里洋子さんと共にオアシスア・テルテン州パッドクラインキルヒハイム町義援金を贈呈 4.25



子供の日に山田八幡宮で行われた被災地の子供たちを励ますイベントに参加 5.5



自由民主党・各種団体意見交換会



党東日本巨大地震緊急対策プロジェクトチームの各種団体意見交換会に出席 5.7



財本州鮭増殖振興会(鈴木俊一会長)から義援寄付金贈呈(岩手県さけ・ます増殖協会・宮城県鮭増殖部会・福島県鮭増殖協会)



宮古市への一般社団法人日本自動車工業会トラック贈呈に同行 5.17



「3.11絵本プロジェクトいわて」の児童図書贈呈をお手伝い(山田町) 5.24



被災に遭われた特別養護老人施設を訪問 5.24



漁業再開と復興への漁業者皆さんのご意見を伺い共に考える 5.24



安倍元総理と小学校慰問、児童図書贈呈に立ち会う(宮古市) 5.31



安倍元総理の仲介でCD売り上げ義援金を宮古市に贈呈 5.31



盛岡桜山神社で開催された「三陸復興祈願祭」で鎮魂の思いと復興の願いを込めて赤い風船を放つ 6.11

後援会入会のお申し込みは、下記へご連絡下さい。
鈴木俊一後援会事務所 〒020-0172 岩手郡滝沢村編綱字狐洞1番地432 TEL019-687-5525 FAX687-5565
後援会報「和」は、すずき俊一ホームページでもご覧頂けます。http://www.suzukishunichi.jp

「三陸、そして岩手の再生に政治生命をかける」

3月14日、東日本大地震による津波襲来から3日目、破壊され尽くしたふるさと三陸の光景を目の当たりにして私はこう思いました。

昭和8年、三陸地域を襲った大津波から78年。ふるさとの復興に向け政治家を志した父とその意志を引き継ぎ、「豊かなふるさと」を築き上げるために私も全力で働いて参りました。60年に亘り、ふるさとの皆様と力を合わせて守り育てて来た三陸沿岸地域の漁港、道路、鉄道、公共施設等のインフラが、そして地域コミュニティが一瞬にして壊滅してしまいました。

私は、三陸の復興と発展に力を尽くすことが、これからの自分の政治家としての使命であると確信し、被災地各地に入り、現地の声聞き、支援物資や義援金を募りながら、一日も早い復旧に向けて取り組んでおります。

そして、被災地で調査したことをまとめた「緊急提言」を自民党岩手県連会長として谷垣総裁に提出すると共に、党本部での対策会議では被災者の救済、新たな地域づくりへの提言を強く主張して参りました。

復旧・復興には被災地・被災者を第一に考えるスピーディーな対応が必要であります。これまでの民主党政権の後手後手のかつ現場の思いを汲み取れない対応には強い不満と憤りを覚えています。

今やるべきことは、住民が安心して生活でき、さらに水産業をはじめとした産業再建に向けたブランドデザインをしっかりと作成することです。

今、私はこの度の想像を絶するふるさとの危機と困難の中、国政の場において直接、力を振るい働くことの出来ないもどかしさと無念さを痛感しています。

しかし、三陸をふるさともつ者として、かつ被災者の一人として、三陸沿岸地域の復興に向けて、そして、ふるさと岩手の発展のため、全身全霊を込めて取り組んで参ります。

